

市立豊中病院運営計画 (令和5年度～令和9年度) (素案) の概要

計画策定にあたって

【策定の趣旨・位置付け】

- ・ 当院が、公立病院また急性期医療を担う地域の中核病院として求められる役割を果たすための運営の方向性や目標を定めた計画
- ・ 「第4次豊中市総合計画」の分野別計画に位置付け、公立病院経営強化ガイドラインや大阪府医療計画等で示された方向性に基づき取組みを進める。

【対象期間】

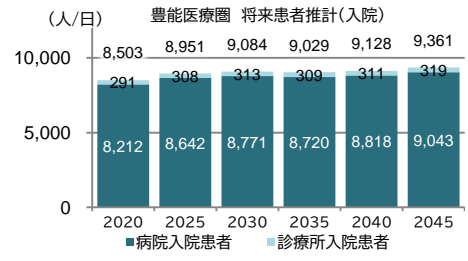
令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度) (5年間)

計画策定の背景

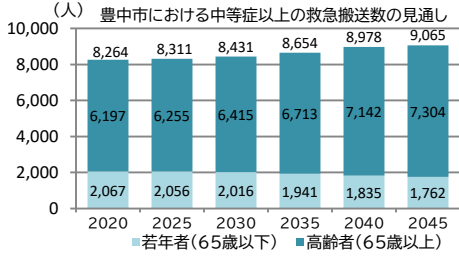
【当院を取り巻く状況】

●医療需要

- ・ 豊能医療圏は高い医療ニーズが継続



- ・ 高齢者層を中心に救急搬送件数が増加



●医療提供

- ・ 消化器系、腎・尿路系、小児疾患、呼吸器系、血液系、女性生殖器等は豊能医療圏で1位または2位の高いシェアを有する

●新興感染症

- ・ 病床確保や施設設備の整備など、感染拡大時等に備えた平時からの取組み

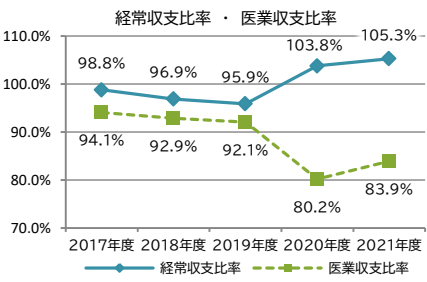
●働き方改革

- ・ 医師の時間外労働時間規制への対応、専門人材の確保・育成

【当院の現状】

●経営状況

- ・ 経常収支は2019年度まで赤字、2020年度からコロナ補助金等により黒字
- ・ 医業収支はコロナの影響により悪化



●入院

- ・ 2019年度まで新規入院患者数微増、延入院患者数減少
- ・ 2020年度から新規入院患者数、延入院患者数減

	2015年度	2019年度	2021年度
新規入院患者数	15,482人	15,897人	13,178人
延入院患者数	199,311人	180,704人	148,049人
平均在院日数	11.8日	10.4日	10.3日

●外来

- ・ 外来患者数は減少、紹介患者数は2019年度まで増加傾向

	2015年度	2019年度	2021年度
外来初診患者数	34,610人	31,211人	24,049人
紹介患者数	22,943人	24,386人	19,984人

●救急

- ・ 5,500人の救急患者を受け入れているが応需率が低い(50%前後)

●手術

- ・ 全手術件数は徐々に減少しているが、全身麻酔手術件数は増加

当院の果たすべき役割

【果たすべき役割】

- 急性期医療を中心とした専門的な医療の提供
- 地域の医療機関等との緊密な連携

【役割を果たすための方向性】

1. 地域医療機関等との役割分担による当院が担う医療機能の明確化
 - 〔急性期疾患・専門性の高い医療〕
 - 〔周辺医療機関では対応困難な医療 など〕
2. 自院における業務効率化
 - 〔デジタル化、タスクシフト、病床の効率的運用など〕

基本目標と取組内容

【基本目標】 地域医療機関等との連携を一層推進し、地域の中核病院として、急性期医療を安定的に提供することで地域医療を支えます

【取組方針】	【重点項目】	【取組内容】
I. 急性期医療を中心とした医療機能の充実	救急医療の強化	救急受入れのための病床の効率的運用 救急部門担当人材の確保 救急処置スペース不足への対応
	がん医療の強化	がん診療機能の充実 がん相談や緩和ケアの充実 がん専門医療に関する人材育成や配置
	専門的医療の充実	急性期専門医療の拡充 専門資格保有職員による専門性の発揮 小児・周産期医療の体制維持 新興感染症流行時に備えた病床運用と施設整備
II. 地域連携の推進	医療機能分化の推進	医療連携による関係構築の推進 転院ルート確保など逆紹介の推進 医療機能分化に関する情報発信
	地域包括ケアシステムへの貢献	医療と介護の連携 医療機関や保健・福祉施策事業への貢献
III. 医療の安全と患者サービスの向上	医療安全の推進	医療安全に対する職員意識の醸成と事故防止対策 患者・家族のサポート体制の強化 患者急変時対応の強化 院内感染防止対策の実施
	患者サービスの向上	接遇・満足度の向上 快適な診療環境・院内設備の整備 入退院支援相談の体制整備
IV. 安定した経営基盤の確立	働きがいのある職場づくり	働き方改革に向けた取組み 専門的知識・技術の習得や、資格取得等支援の強化 職員要望の把握と分析
	収益性の向上	適正な診療報酬算定と施設基準の取得 費用の精査等の費用適正化に向けた検討 職員の経営意識の醸成
	病院運営の効率化	医療施設や機器の効率的運用 デジタル技術導入による業務効率化 セキュリティ対策や情報リテラシーの醸成